

(株) 津南アグリ (新潟県津南町)

実証面積：11ha (R2)：21ha (R3)

実証課題名 豪雪地域の露地野菜産地におけるスマート農業導入による省力化・生産性向上の実証

構成員 新潟県、津南町、津南町農業協同組合、ヤンマーアグリジャパン(株)、(株)東洋農機、アスザック(株)、(株)津南アグリ



背景・課題 ○津南町では国営苗場山麓総合農地開発事業で、1ha区画の開発畑が650ha造成され、雪下になじん、アスパラガス、ユリ切り花などが作付けられ、それぞれがブランド品目として高い評価を得ている。
○しかし、高齢化や人手不足により、栽培農家の減少や出荷量等が低下しており、生産の省力化と労働力の確保が喫緊の課題となっている。



「津南の雪下になじん (令和元年6月にG1登録)」の作業風景

本実証プロジェクトにける想い

津南町は新潟県内でも有数の豪雪地帯で、1年の約3分の1は雪に覆われる地域です。
スマート農業技術や大型機械を利用することで、省力化や生産性向上を図り「雪下になじん」や「加工キャベツ」の生産拡大を進めます。



広大な開発畑と雪という地域資源を活用した特徴ある園芸産地の拡大

目標 ○雪下になじん (10aあたり) 労働時間：約35%削減 収量：約10%向上
○加工キャベツ (10aあたり) 労働時間：約40%削減 収量：約10%向上

実証する技術体系の概要

要素技術 ①ロボトラ、自動操舵システム、②ラジコン除草機、③センシングドローン、④キャベツの大型収穫機、⑤除雪機、⑥になじんの大型収穫機 など

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる」ポイント	⑥		①	②	③	④	⑤					

①ロボトラによる自動耕耘、自動操舵システムを活用した畦立・施肥



②ラジコン除草機を利用した畦畔除草



③センシングドローンによる生育のモニタリング



④大型収穫機を利用したキャベツの省力化・軽労化



問い合わせ先

▶ **実証代表** 新潟県農林水産部農産園芸課
E-mail: ngt060030@pref.niigata.lg.jp
▶ **視察等の受入について** 津南町農林振興課 TEL: 025-765-3115